



平成 21 年 4 月 23 日

### 学内 COE 「越境地域間協力教育研究拠点づくり」

**概要：** 社会文化科学研究科は、政治、経済、文化領域において東アジアのリーダーとなる人材の育成を行うため、国境を越えた国際教育・研究連携を充実させるとともに、本研究科をその拠点とするための準備を進めてきました。東アジアが、英知を結集してオリジナルで質の高い学術情報を発信し、また個別の国家利害を代表するのではなく東アジア全体を代表できるような人材を育てていくことは、国際地域間競争が激化する中できわめて重要な課題です。本研究科は、EU の域内研究・教育協力を一つのモデルとしながら、こうした取り組みの中核となるべく、シンポジウム等を開催して国際コンソーシアムの素地作りを行っています。

<内容> 昨年度取り組んだ主要なシンポジウム

1. 法学系国際ワークショップ「National Identity, European Citizenship and Immigration (ナショナル・アイデンティティ、欧州市民権、移民)」(日時： 2008 年 12 月 13 日(土) 14:30～ 場所： 岡山大学 法経 2 号館 2 階 法学部会議室)
2. 学内 COE 国際シンポジウム「Rising Economies and Regional Cooperation in the East Asia and Europe (東アジア、ヨーロッパにおける新興国経済発展と地域協力)」(日時： 2008 年 12 月 13 日(土) 9:20～ 場所： 岡山大学 法経 2 号館 5 階 経済学部会議室)
3. 学内 COE 国際シンポジウム「Northeast Asia and Regional Integration (北東アジアと地域統合)」(日時： 2008 年 12 月 14 日(日) 9:00～ 場所： 岡山大学 文化科学系総合研究棟 2 階共同研究室)
4. 学内 COE 国際シンポジウム「Norm and Value in Asia (アジアにおける規範と価値)」(日時： 2008 年 12 月 21 日(日) 10:00～ 場所： 岡山大学文化科学系総合研究棟 2 階共同研究室／文法経講義棟 2 階 20 番教室)

<見込まれる成果・特徴>

本研究科は、大学全体で実施している岡山大学-中国東北部大学院留学生交流プログラム“O-NECUS”に積極的に参加し、吉林大学(中国・長春)、東北師範大学(中国・長春)と国際協定を結んで、ダブルディグリー・プログラム(両大学で同時に学位を授与する)や短期留学プログラムを実施しています。近く、その他の東アジア地域の諸大学と協定を締結し、本研究科を中心とした国際コンソーシアムをさらに拡充する予定です。同時に、ジョイントディグリー・プログラム(これらの大学と共同で指導して学位を授与する)などの教育連携も準備しています。こうした取り組みは、人文社会科学系では全国でもほとんど例がなく、留学生 30 万人計画が打ち出されるなかで、全国をリードするモデルケースとなると自負しております。

<お問い合わせ>

岡山大学 社会文化科学研究科等  
大学院係・秋山  
(電話番号) 086-251-7357

1. 学内 COE 「越境地域間協力教育研究拠点づくり」法学系国際ワークショップ「National Identity, European Citizenship and Immigration」

日時： 2008年12月13日(土) 14:30～

場所： 岡山大学 法経2号館2階 法学部会議室

パトリック・ドラ (Patrick Dollat) (フランス、ロベール・シューマン大学教授) 「外国人へのヨーロッパ市民権の付与とその帰結」

成廣孝 (岡山大学准教授) 「ヨーロッパ市民のナショナル・アイデンティティ」



2. 岡山大学経済学部・社会文化科学研究科共催 2008年度国際学術集会  
「東アジア、ヨーロッパにおける新興国経済発展と地域協力」(Rising Economies and Regional Cooperation in the East Asia and Europe)

日時： 2008年12月13日(土) 9:20～

場所： 岡山大学 法経2号館5階 経済学部会議室

第1セッション

Magdalena Iordache Platis (ブカレスト大学行政・経営管理学部学部長, ルーマニア):  
Consumer Behavior in Romania before and after the Integration in the European Union

Chan-Hyun Sohn (江原国立大学経済研究所所長, 韓国): Trade Structure, FTA and Economic Growth

張虎 (中央財經大学, 中国): Analysis on Exchange Rate Pass-Through with Evidence from Northeast Asia

横尾昌紀 (岡山大学, 日本): Chaotic growth in an overlapping generations model with endogenous structural change

第2セッション 司会：横尾昌紀 (岡山大学, 日本)

Young Youn Lee (江原国立大学, 韓国): The Impact of Demographic Transition on Economic Growth

王虎 (上海社会科学院, 中国)

村井浄信 (岡山大学, 日本): A probabilistic model on the long memory property in stock market

張蘇(中央財經大学, 中国): The scientific basis of Cooperation economics

第3セッション 司会：松本俊郎 (岡山大学, 日本)

Sorin Toma (ブカレスト大学, ルーマニア): Paths to Economic Modernization: Japan and Romania (1860-1914)

葛偉民 (上海社会科学院, 中国): 共渡金融危机难关 (Sino-Japan Economic Cooperation toward breakthrough of the financial crisis)

韋倩 (山東大学, 博士後期課程, 中国): 经济增长中的合作因素 (Cooperation in Economic Growth)



### 3. 学内 COE 国際シンポジウム「北東アジアと地域統合」(Northeast Asia and Regional Integration)

日時： 2008年12月14日(日) 9:00～

場所： 岡山大学 文化科学系総合研究棟 2階共同研究室

#### 第1セッション「EUの地域統合から学ぶもの」

パトリック・ドラ(Patrick Dollat)(ロベール・シューマン大学教授)「EU条約の改正」

ウルリッヒ・ユルゲンス(Ulrich Jürgens)(ベルリン社会科学研究所[WZB]教授)「EU

統合がドイツの労使関係に与えた影響」

趙偉(浙江大学)「中国国内諸地域の統合：空間経済問題に関する挑戦」

黄凤志(吉林大学行政学院教授)「中日平和と独仏和解に関する比較研究」

#### 第2セッション「北東アジアにおける産業と労働と家族・ジェンダー問題」

イヴリーヌ・ルクレール(Yveline Lecler)(フランス、リヨン第2大学政治学研究所准教

授)「タイ HDD 工業の持続可能性—日米企業の戦略と政府の政策の狭間で」

清水耕一(岡山大学社会文化科学研究科教授)「トヨタ生産システム—グローバル化時代のモデルチェンジ?」

杉田くるみ(フランス、国立科学研究所[CNRS]フェロー研究員)「雇用上安の下での家族—日本における非典型雇用形態の発展と男女間分業」

中谷文美(岡山大学社会文化科学研究科教授)「『仕事とケア』の両立：オランダの経験から学ぶこと」



### 4. 学内 COE 国際シンポジウム「アジアにおける規範と価値」(Norm and Value in Asia)

日時： 2008年12月21日(日) 10:00～

場所： 岡山大学文化科学系総合研究棟 2階共同研究室／文法経講義棟 2階 20番教室

#### 第一部「東アジアにおける物質観」

場所：文化科学系総合研究棟 2階共同研究室

V. マリヤーヴィン（淡江大学教授）「中国とロシアの物質観」(\*) 要旨

鐸木道剛（岡山大学）「アイコンとアイドル」要旨

コメンテーター・荒木勝（岡山大学社会文化科学研究科）、全体討論

第二部 (1) 取締役と会社間の取引（利益相反取引）

場所：文化科学系総合研究棟 2階共同研究室

胡曉静（吉林大学）「中国における取締役と会社間の取引に関する法規制 —取締役の義務責任の観点から（立法論）」(\*) 要旨

鄧峰（北京大学）「中国における利益相反取引に関する法責任の分析」(\*) 要旨

鈴木隆元（岡山大学社会文化科学研究科）「事前予防規制としての利益相反取引規制の法構造 —会社の承認を要する取引の範囲について—」要旨

第二部 (2) ロシアにおける東アジア美術

場所：文法経講義棟 2階 20番教室

A. ボゴリューボフ(エルミタージュ美術館)「Far Eastern Art in Ermitazh : Before and After Hayashi Tadamasu Collection」(\*) 要旨

福間加容（千葉大学）「ロシアにおけるジャポニズムの受容」要旨

N. ボゴリューボヴァ（ペテルブルグ大学）「A Role of St. Petersburg on the Development of Cultural Connection between Russia and Japan」(\*) 要旨

コメンテーター・龍野有子（岡山大学社会文化科学研究科）



詳細： 岡山大学大学院社会文化科学研究科 HP「What's New」参照  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/>